

「こころつなぐ」

2024年
春

千葉 伸太郎様 コラム 光の上手な利用と睡眠

もみの樹・練馬

ご入居者が楽しめる多彩な企画を日々開催

もみの樹・横浜鶴見

暮らしの中にもっと“ふれあう”喜びを

ネオ・サミット湯河原

バラエティ豊かなイベントでより楽しく快適に

ネオ・サミット茅ヶ崎

住宅型(自立)から介護付居室へ～住み替えて長いお付き合い～

もみの樹・杉並「ご家族インタビュー」

夜間でも迅速にご対応くださり
私も母も安心感を得ています

もみの樹・杉並「スタッフインタビュー」

ご入居者にもご家族にもご満足いただけるよう努めています

感動プロジェクト 認知症ケア

スタッフの資質向上を図り
より適したケアの提供へ

感動プロジェクト オンリーワン もみの樹・渋谷本町

リハビリに励み体調回復 趣味のオペラ鑑賞をしたい

中橋

高山市内の中心部を流れる宮川にかかる飛騨高山の代表的な橋。朱色の伝統的なデザインの欄干が特徴的で、フォトスポットとしても高い人気を誇ります。特に桜の季節になると、淡い桜色の中に橋の朱色が印象的で多くの観光客が訪れます。

こころつなぐVOL.27(介護付有料老人ホームもみの樹 ネオ・サミット)情報誌通巻27号 2024年3月発行

「こころつなぐ」

人と地域、そして心豊かな暮らしへの架け橋を築く

大和ハウスライフサポート。

そこには、ご入居者やそのご家族の

さまざまな夢や願いの実現をお手伝いしたいとの

想いが込められています。

0120-07-4165

受付時間:午前9時～午後5時



介護付有料老人ホーム
もみの樹・練馬
東京都練馬区平和台2-50-1



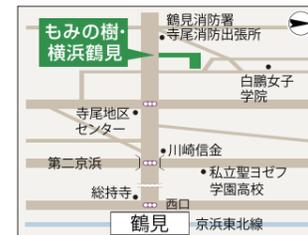
介護付有料老人ホーム
もみの樹・杉並
東京都杉並区和泉3-52-8



介護付有料老人ホーム
もみの樹・横浜鶴見
神奈川県横浜市鶴見区北寺尾4-3-1



介護付有料老人ホーム
もみの樹・渋谷本町
東京都渋谷区本町5-25-1



介護付有料老人ホーム・住宅型有料老人ホーム
ネオ・サミット茅ヶ崎
神奈川県茅ヶ崎市東海岸南4-3-3



介護付有料老人ホーム
ネオ・サミット湯河原
静岡県熱海市泉17-2



Daiwa Life Support
大和ハウスグループ

大和ハウスライフサポート株式会社

東京都港区三田3丁目1番7号 三田東宝ビル6階 〒108-0073 Tel 03-3456-4165(代表) Fax 03-3456-4175
当社は大和ハウス工業(株)の100%出資による子会社です。

大和ハウスグループの経営のシンボルである「エンドレスハート」は、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
© Copyright 2024 DAIWA HOUSE INDUSTRY CO.,LTD. All rights reserved.

We Build ECO | 森林育成紙TM使用

光の上手な利用と睡眠

Vol.4

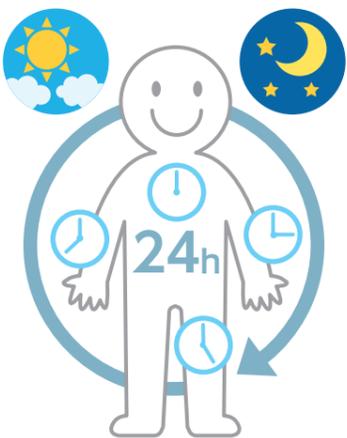
千葉 伸太郎

医学博士 太田総合病院記念研究所
太田睡眠科学センター所長
東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室 客員教授
日本睡眠学会 睡眠医療認定医
日本睡眠学会 理事(副理事長)
日本睡眠学会 理事(副理事長)
一般社団法人 良質睡眠研究機構 (iSSS) 常務理事



光と体内時計

我々は24時間で一周する地球の自転に合った概日リズム(サーカディアンリズム)と同期した生命活動を行なっています。一方、体内時計のリズムは24時間より長い(以前は25時間、現在ではさまざま)実験から24.2時間と考えられています)とされています。我々は毎日、体内時計を少しずつリセットすることにより24時間のリズムに合わせて暮らしています。この時計のリセットのスイッチとして光の刺激が重要



の習慣を身に着けることも可能となります。逆に、夜に明るい光を浴びるとメラトニンの分泌が抑制され、眠りにつくのが難しくなり、翌朝の目覚めにも影響します。よって深夜の光はリズムを後退させ、遅寝・遅起きの習慣になってしまうことを認識すべきです。特にIT化が進んだ現代の日本では、24時間街から光が消えることはなく、知らず知らずに、夜間の光が体内時計に影響を与えてしまいます。動物と比較し、ヒトは感度が低いと考えられています。300〜500ルクス以上の明るさで影響を受けるとされます。しかし実際は光の強さ(照度)と光を浴びる時間の長さ(暴露時間)、さらに光の種類(波長)が関連し、夜間では数十ルクス程度から影響することがあります。

一般的な室内照明の明るさでも体内リズムに影響することを注意する必要があります。2000ルクスに近いとされる夜間のコンビニの照明は体内時計を狂わせる可能性があります。夜に幼い子どもをコンビニに連れていくだけで、その子のリズムに大きな影響を及ぼしてしまいます。幼少期の遅寝遅起きの習慣は、キレる子ども(衝動性や攻撃性)との関連が危惧されています。

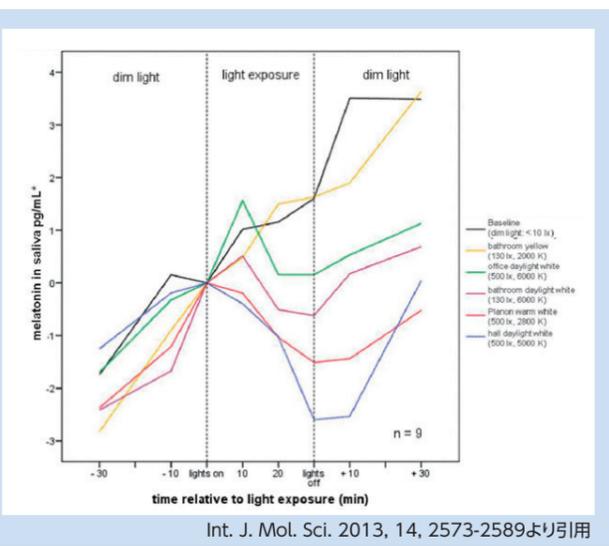
な役割を果たしています。また、光には覚醒刺激として朝の目覚めを良い状態にするパワーもあります。

したがって、スッキリ目覚める方法として、朝、起床に光を上手く利用することが有効です。具体的には、カーテンなし、あるいはタイマー式の電動カーテンを使うなど、起床前から自然光を取り入れたり、起床後すぐに散歩に出かけたり、日光を浴びることによりさらに覚醒度をアップさせることもおすすめです。また、日の出が遅い冬の時期には、高照度の蛍光灯を目覚ましタイマーとして利用することも良いでしょう。



質の良い眠りのために

より良い眠りのために、眠る1〜2時間前から徐々に照明の明るさを(照度)を落としていくことや、白色の蛍光灯から暖色系の白熱灯などに変更して光刺激を下げることで、体内の眠る準備がスムーズに進みます。逆にスマートフォンやLED照明には、「ブルーライト」という青色光が入っており、眠る前には避けるべきです。ブルーライトは目に見える光の中で最も波長が短く(380〜500ナノメートル)、エネルギーが強いとされ、ヒトの網膜は470ナノメートルの波長



を感知することにより覚醒度が上がります。夜寝る前にブルーライトを浴びると体内時計の調整と睡眠を促進するメラトニンの分泌が抑制されてしまいます。人工照明が主役となった現代社会では、昼間の光が不足し、夜間の光が過剰となりがちで、就寝前のPC作業、テレビ、メールなどは知らず知らずに眠れない脳を作り上げてしまうのです。特に最近の中高生のスマートフォン、SNSの依存は大きな問題で、親の目を避け、布団をかぶつてまで深夜にスマートフォンをいじる習慣は、体内時計を大きく狂わせ、夜間の睡眠を悪化させるとともに、昼の覚醒に影響し、日中の活動にまで影響することを認識する必要があります。

このように光は上手に利用すれば、朝の目覚め促進や、日中の覚醒維持の助けになります。夜はスムーズな入眠ができるよう、就寝時ではできるだけ暗い環境を確保することが重要です。



光を浴びる時間と影響

晴れた日の屋外の明るさは2万ルクス以上、オフィスの窓際では2500ルクス以上とされています。光を利用し覚醒度を上げ、日中の活動をより効率良く快適にすることで、夜の眠りも良くなるという好循環が期待できます。

朝に光を浴び、適度な運動をすることにより、幸せホルモンと呼ばれる「セロトニン」が日中に作られます。そしてこのセロトニンを材料に、起床後14〜16時間後に眠りのホルモンである「メラトニン」が分泌されます。メラトニンは体内時計の調整と睡眠を促進する睡眠依存性ホルモンであり、通常、産生されるのは夜間、暗い時間となります。その分泌は「眠りに最適な時間であること」を身体に伝えてくれ、スムーズな寝つきが得やすくなります。

これを応用すると、早朝、明るい光を浴びることでリズムを前進させ、早起き

今回で千葉先生のコラム掲載は終了となります。一年間ありがとうございました。(編集スタッフ一同)

もみの樹・練馬

ご入居者が楽しめる多彩な企画を日々開催

もみの樹・練馬では毎月、音楽イベントや体操などの身体を使うアクティビティに加え、講師を招いて物を作るサークル活動も開催し、ご入居者にお楽しみいただいています。

★お好みの香りでアロマスプレー作り

約10種類の香りから好みの香りを選び、オリジナルのアロマスプレーを作るフロアイベントを行いました。

アロマにはリラックスをはじめ、寝付きや虫よけなど、様々な作用を期待できる香りがあります。ご入居者は自分の好みや悩みに合ったアロマスプレーが完成すると、スプレーボトルを手にして大変喜ばれていました。



★名人の蕎麦打ち技術と美味を満喫

当館に蕎麦打ち名人をお呼びし、蕎麦打ちを披露していただきました。蕎麦を切る時の音がとても小気味よく、ご入居者は興味深くご覧になっていました。

この日の昼食はもちろん、打ちたて茹でたてのお蕎麦をご堪能いただきました。その味わいは抜群で、誰もが「また食べたい」とおっしゃるほど好評でした。



★クリスマス気分を誘うリース作り

当館では定期的に手芸サークルも実施しています。11月は翌月のクリスマス用に飾りを制作しました。「ちょっと早いクリスマス気分を誘うリース作り」



クリスマス気分を味わえて楽しいわね」と心を弾ませるご入居者もおり、皆様、スタッフと一緒に一生懸命クリスマスリースを作られていました。



もみの樹・練馬では季節ごとの特徴を活かした催しや音楽で癒やしを感じていただけるイベントを実施し、これからも、ご入居者ご家族・スタッフがともに楽しめる雰囲気を作っていきたいと思えます。

もみの樹・横浜鶴見

暮らしの中にもっと「ふれあう」喜びを

新型コロナウイルス感染症が5類へと移行され、もみの樹・横浜鶴見でも、感染対策をしっかりと行いつつ、数年ぶりに外部の方とふれあう機会を設けるようになりました。

★年末年始のイベントを満喫

縁起が良いとされる12月28日、毎年恒例の餅つき大会を開催しました。近隣の小学生が飛び入り参加し賑わう中、ご入居者もスタッフも力一杯杵を持ち上げ餅をつきました。

元旦には無病息災や長寿を願って御神酒を振る舞いました。久々の初詣に出向いたご入居者は、一年の



無事や平安を祈願したり、おみくじを引いたりと楽しめました。「神様に二年分のお願いをしたわ」「おみくじは吉だったわ、このくらいが丁度良いわね」との声も聞かれ、幸先の良いスタートとなったようです。



また、身体状況により外出困難な方や、外出をご辞退された方には、スタッフが館内の庭に建てた「もみの樹神社」で、初詣気分を味わっていただきました。

★選んで楽しいお買い物サロン

長時間の外出が難しい方でも利用しやすい、お菓子や洋服などのお買い物サロンを定期的に開催しています。ご入居者同士で会話をしたり、スタッフと一緒に商品を選んだり、お買い物を楽しめる憩いの場です。



★動物とふれあう癒やしの時間

館内のコミュニティルームで、年に4回ほどアニマルセラピーを開催しています。皆様「昔犬を飼っていたのよ。抱き心地が懐かしいわ」「愛くるしいわね」と笑顔になられ、犬たちとのふれあいに癒やされているようです。



ネオ・サミット湯河原では、ご入居者に楽しく快適にお過ごしいただけるよう数々のイベントを開催しています。

避難誘導訓練

11月15日、熱海市消防本部の方にご来館いただき、地震発生から火災を想定したスタッフの避難誘導訓練を行いました。さらに、けが人や動くことが困難な方の搬送方法、消火器による消火方法などもご指導いただきました。



冬至にゆず湯

冬至の12月22日には、当館の温泉大浴場でもゆず湯をご用意しました。大浴場内にふんわりとゆずの香りが広がり大好評でした。



加温、循環ろ過式

クリスマス会

12月23日のクリスマス会は、サンタ帽姿のご入居者や、コーラスサークルの皆様によるクリスマスソングなどで、クリスマスムード満点の催しとなりました。クリスマスプレゼントを賭けたビンゴ大会も、ご入居者同士でカードを見せ合ったり、歓声が沸いたり、大変盛り上がりました。素敵な写真もたくさん撮影できました。



餅つき大会

12月27日には、毎年恒例の餅つき大会を開催しました。男性も女性も力強く杵を持ち上げ餅をつくつと、会場に「ヨイショーヨイショー」のかけ声が響き渡りました。最後には、温かいお汁粉をご用意し、寒さを忘れる楽しい会となりました。



新年の初笑い

1月1日の新年顔合わせ会にも多くのご入居者にお集まりいただきました。伊豆出身の落語家・春風亭傳枝師匠のご登壇により、初笑いでの新しい1年をスタートすることができました。



ネオ・サミット茅ヶ崎

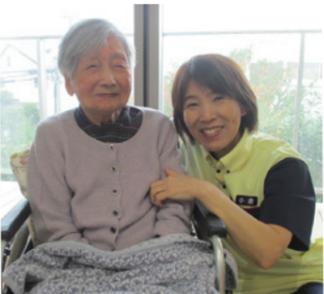
住宅型(自立)から介護付居室へ〜住み替えて長いお付き合い〜

ネオ・サミット茅ヶ崎は、多くの方々に支えられ、昨年の12月1日で11周年を迎えました。これまで皆様と一緒に楽しく素敵な思い出と歴史を作ってきました。これからも人生の大先輩方より、いろいろなことを学んでいきたいと思えます。

素敵な笑顔で元気に過ごすF様

当館には昨年100歳を迎えられたF様がいらっしゃいます。平成25年に住宅型(自立)に89歳でご入居され、現在介護付のケアレジデンスで過ごされています。長生きの秘訣は、規則正しい生活の継続、好き嫌いをせずによく食べる、身体をよく動かすこと、現在も健康を保たれています。

日常的にスタッフとのコミュニケーションや機能訓練、イベントへの参加を楽しまれ、ご家族や知人が来館された際には会話を弾ませ、笑顔あふれる日々を送られています。



ご家族と一緒に100歳をお祝い

F様のご家族より「館内で20人ほどの親族と100歳のお祝いをしたい」とのお話があり、感動プロジェクト「オンリーワン」に付随する企画「夢のかけら」で、お祝いのお手伝いをさせていただきました。



他のご入居者にも花飾り作りでご協力いただき準備万端で迎えた当日、スタッフがF様に化粧をして差し上げ、会場へご案内しました。ひ孫様のバイオリン演奏で迎えられると、F様はお一人おひとり嬉しそうに談笑されました。また、F様の日常をご紹介できるよう、写真をボードに貼って展示しました。撮影されるご親族もいらつしや、皆様に喜んでいただけたようです。



開催後にはご家族より「ここまで長生きできたのはサミットのおかげです。入居して良かったと改めて節目を祝えて感じました」と感謝のお言葉をいただきました。これからもF様に元気で楽しくお過ごしいただけるように、そしてご長寿のご入居者が増えますように、質の高い介護サービスのご提供に努めていきます。

夜間でも迅速にご対応くださり私も母も安心感を得ています

お母様の堀田茂子様がおもみの樹・杉並にご入居されて1年になる福原様にお話をうかがいました

もみの樹・杉並を選ばれた理由をお聞かせください

母が自宅での生活が難しくなってきたため、自宅から遠くない範囲で老人ホームを探していました。7施設くらい見学しましたが、その中でも、もみの樹・杉並は第一印象から「いいな」と感じていました。

お風呂や食堂など、時間をかけて見学させていただき、全体の雰囲気や設備にも魅力を感じました。その際、説明してくださったスタッフの方や、母の家に来てくださったスタッフの方も良い人ばかりで好印象でした。

施設選びは母から任されていたので、私が「どうしてもここが良い!」と思えたこちらに決め、すぐに手続きを済ませました。



お母様がおもみの樹・杉並での生活で、楽しみにされていることはありますか？

母は食事が気に入っているようで、「とてもおいしい」と言っていますよ。

あと、ダイニングで隣の席に座られているご入居者のAさんと親しくなったりみたいですね。気の合う友人ができたことは、娘としてもとても嬉しいですね。

ご入居されて、特に良かったことや変わったことはありますか？

母は足がおぼつかないところがあったので、最近転倒して骨折してしまったのですが、スタッフの方がすぐに気づき、夜間にも関わらず、看護スタッフさんと一緒に車で病院に連れて行ってくださったんです。もし自宅で母が一人の時に転倒していたら…、私がすぐに母の元に行けなかったら…、連絡も取れなかったら…と考えると、「こちらに入居していて本当に良かったな」と思いました。

治療後もしっかり対応してくださり、順調に回復しています。先日リハビリを見学したのですが、母は平行棒の間をしっかりと歩けていました。

こちらには「緊急時も対応してもらえる」という安心感があるので、スタッフの皆様には常に感謝しています。これからもよろしくお願いします。

スタッフからひとこと

今後も活気ある生活をお送りいただけるよう、転倒予防や身体状態の維持に努めながら支援させていただきます。



スタッフ's EYES ~ちょっと素敵なエピソード~

実は、A様はずっとお部屋でお食事をされていたのですが、堀田様をご入居されてからはダイニングで召し上がるようになったんですよ! お二人にとって良い出会いだっただと思います。

お食事前に堀田様は、A様が座りやすいように椅子を引き、見守られています。お優しいですよ。お部屋に帰る時は「またね～」と握手をされ、私たちスタッフも微笑ましく拝見しています。

ご入居者にもご家族にも ご満足いただけるよう努めています

ご家族インタビューで、館の対応をご評価いただきましたが、実際にどのような点に配慮してサービス提供をしていますか？



Q リハビリについてはいかがですか？

A 【酒井】 ご入居者の現状を把握し、

お一人おひとりにあつたりハビリ計画を立ててサポートしています。

堀田様の場合は、骨折前と同様の日常生活を送れるように、プログラムを考えました。もともと平行棒の間で歩くことが得意な方でしたので、その状態に戻すことが目標になりますね。

また、今回は肩を骨折してしまったので、関節が固まり可動域が低下しないよう、手や腕を動かすリハビリも追加しました。



理学療法士
酒井 歩実

Q 医療面ではいかがですか？

A 【上村】 外部の医療機関や医師と連携して、緊急時にも対応できるように、ご入居者の病状を把握しています。

当館では近隣クリニックの医師による往診体制が整っています。堀田様は定期的な採血や血圧測定も行っているため、体調の変化に合わせて、医師がすぐに薬の調整をしてくださいます。私自身も常に堀田様を見守り体調を把握しているので、不調や異常の早期発見ができています。

また、病院に行く際は、医師や看護師にご入居者の状態を正確に伝えられるよう、スタッフが付き添うことも大切だと考えています。



看護主任
上村 茜

Q 軽度要介護状態のご入居者には、

どのようなサービスを提供していますか？
A 【塩田】 普段から自分でできることはご自身でしていただくようにしています。お一人おひとりの状態に応じて、できることを促す声かけをしつつ、サポートが必要と判断した点に関してはお手伝いするようにしています。

Q 館全体としてはいかがですか？

A 【西嶋】 多彩なイベントやアクティビティを開催しています。地域との交流の場になっているイベントもあり、ご入居者も直接的・間接的に交流されています。昨年末のクリスマス会も多くのご入居者が参加され、皆様、大変楽しまれました。

また、子どもたちの一生懸命な姿がお好きなご入居者が多いので、今後子どもたちが活躍できる場を提供していきたいです。

堀田様とご家族からのご評価は大変励みになりますね。引き続き二人でも多くの方に「もみの樹・杉並に入居して良かった」とご満足いただけるよう努めていきます。



介護係長
塩田 多喜



サービス責任者
西嶋 理恵

「もみの樹・杉並」活動レポート

ご入居者の快適な暮らしのために様々なイベントを開催しています

「クリスマス会」で子どもたちが演奏＆合唱

昨年後半から少しずつ感染症対策を緩和しており、12月24日の「クリスマス会」には、4年ぶりに外部の方をお招きすることができました。

杉並和泉学園から21名の生徒様をお招きし、トーンチャイムで演奏する「きよしこの夜」や、可愛らしい声で合唱する「あわてんぼうのサンタクロース」などをご披露いただきました。ご入居者は笑顔で拍手をしながら喜ばれていました。



「きずなサロン」に小さなサンタ登場

認知症カフェである「きずなサロン」もみの樹」を昨年の11月から再開しました。

毎月第4月曜日に、看護スタッフによる健康チェックや、機能訓練指導員によるフレイル予防体操などを行っています。クリスマスと重なった12月は、プログラム最後のピアノ演奏会で、小さなサンタが素敵な歌を届けてくれました。



女子美術大学付属高等学校・中学校の作品展

昨年度に続き11月に「女子美生がおくるアートの風展」を1階のリビングで開催しました。

今回は「きずなサロン」の参加者をはじめ、多くの外部の方にもご覧いただきました。



感動

プロジェクト

認知症ケア

スタッフの資質向上を図り より適したケアの提供へ



感動プロジェクトの二つ、認知症ケアプロジェクトでは、スタッフの資質向上のために弊社独自の認証制度である、D'sケアマスターの養成や、認知症ケア専門士の資格取得支援を行っています。

また、ご入居者の心身の健康を目的に、音楽療法として6館合同のオンライン音楽セッションを毎月2回実施しています。

ほかにも、2018年度から支援事例集

作成のためにチームを立ち上げ、各館で年に数件ずつ個別の取り組みを行い、プロジェクト定例会で共有しています。取り組み内容は、改善したい症状があるご入居者について、その症状と経緯を踏まえ目標を設定、支援計画を立てます。一定期間支援を続け、支援前後における介護負担尺度などの数値化できる項目や状態の変化を評価します。効果があれば支援計画を継続、なければ見直すということを繰り返します。



今回はもみの樹・杉並のU様への取り組みについてご紹介します。

信頼関係を築いて、暮らしと気持ちに安定を！

■事例紹介

もみの樹・杉並 U様(80代)要介護1

【改善したい症状】

- 生活リズムが乱れ、朝起きられずに食事をとれない。時間が遅くなり、昼食が進まない。
- 他の居室に入りトラブルになる。
- 入浴・排泄の介助を拒むことが多く、清潔の保持や排便コントロールが困難。

目標

- 生活のリズムを整える。
- 適したタイミングで声をかけをし、落ち着いた状態で過ごしていただく。

■支援内容

〈1クール目〉

積極的な声かけでU様との信頼関係を築くことと、計4回(朝食・昼食・おやつ後、就寝時)居室トイレへご案内することを徹底しました。その結果、声かけに対し、拒まれる回数が増え、他の居室へ入られることも少なくなりました。



〈2クール目〉

1クール目の取り組みを継続しつつ、U様の生活リズムが整うよう努めました。具体的には、目標の起床時刻を7時30分〜8時、就寝時刻を18時30分〜19時に統一して、日中の覚醒を促しました。集計した1週間では毎日目標時間に離床され、今でも8時過ぎには離床されています。また、以前の様な険しい表情も少なくなりました。

〈3クール目〉

2クール目の取り組みに加え、入浴拒否の改善も図りました。入浴前にトイレのご案内することでU様の不快感を軽減し、その後フロア内を一緒に歩くことで安心感へと繋がりました。入浴前のコミュニケーションを通し、U様のご様子を見ながら入浴にお誘いできたので、入浴を拒まれる回数は大幅に減少しました。

■総括

コミュニケーション頻度を増やし、U様の生活リズムを把握できたため、適切な声かけが実現しました。その結果、U様は徐々に落ち着きを取り戻され、スタッフの介護負担尺度も取り組み前の157から125まで軽減しました。引き続きU様とスタッフの信頼関係を深め、より適したケアの提供に努めます。



D'sケアマスター紹介

「D'sケアマスター」とは、認知症介護実践者研修修了後、社内サービステックに合格したスタッフです。



もみの樹・横浜鶴見
高梨 太輝
(介護副主任)

私はもみの樹に入職してから、業務を通して認知症の方と関わり、どのように接すれば良いのかを覚えてきました。さらに、D'sケアマスターになったことで、よりご入居者一人ひとりにあった対応ができるようになりました。そして現在も、認知症介護実践者研修や現場で学んだことを生かせるよう、日々努力しています。



もみの樹・練馬
吉本 梨沙
(介護スタッフ)

私はご入居者と関わる上で「あいさつ」をしてからケアに入ること大切にしていきます。あいさつからその方のお気持ちや状況を見極め、対応を変化させていきます。また、安心していただける雰囲気作りにも配慮しています。どんな時も慌てず、お話をうかがうことで相手の思いを汲み取りケアへ繋がっています。

これからも穏やかな生活をお過ごしただけよう精進します。



もみの樹・杉並
吉澤 奈菜
(看護スタッフ)

私にとって、D'sケアマスターとは「当たり前」のことを大切に確実に「行い続ける」ことを、より意識づけてくれる資格だと感じています。

「見る」「話す」「触れる」の基本理念を大切に、今後もお一人おひとりに寄り添える看護スタッフでありたいと思います。

感動

プロジェクト

オンリーワン

もみの樹・渋谷本町 N様(80代後半) 要介護5 リハビリに励み体調回復 趣味のオペラ鑑賞をしたい

背景

夢を叶える機会を待ち続け

N様はもみの樹・渋谷本町オーブン当初からご入居されている方です。元々3食経管栄養の状態でしたが、機能訓練に励み1日2食を経口摂取、1食を経管栄養にできるまで回復されました。

趣味はクラシックやオペラ鑑賞で、新型コロナウイルス感染症に伴う規制が緩和されれば「オペラ会場へ出向き鑑賞したい」とのご希望をお持ちでした。

実施までの取り組み

周囲の協力を得て準備開始

もみの樹にご入居者されているT様のご令嬢がオーケストラの指揮者をされて

要介護5

いたため、T様のご息女に鑑賞希望の相談をさせていただきました。T様のご息女は快くご対応くださり、N様の奥様も喜ばれていました。

その後、日時の調整やチケットの手配、会場の下見などの準備を進めていきました。

当日の様子

ご夫婦でオペラ鑑賞をご満喫

7月5日、N様とT様、そのご家族とともに新国立劇場へ向かいました。N様のご様子はいつも通りでしたが、スタッフ「オペラを観に行きましょう」とお声をかけると、「ハッ」と目を開かれることもありました。



パンフレットを眺めるN様



ラ・ボエーム パンフレット

この日の演目は「ラ・ボエーム」で、奥様も「一緒にDVD鑑賞していた作品だからとても楽しみ」とおっしゃり、N様にも説明されていました。
会場に入ると、N様は周りを見渡し、劇場の雰囲気を確認されているようでした。上演中、閉眼されている時間はあるものの、舞台上視線を向け、臨場感あふれる音楽に耳を傾けられていました。
奥様にも「昔はよく主人とオペラ鑑賞をしていたので、今回の企画は大変嬉しかった」とご満足いただけました。

スタッフボイス



もみの樹・渋谷本町
介護スタッフ
色摩 美由紀

N様にとってオペラを生で鑑賞できたことは、とても良い刺激と気分転換になったと思います。懸念していた咳き込み回数は上演中2・3回で、鑑賞の妨げにならずに安堵しました。今後もN様とご家族に趣味嗜好をおうかがいし、ご希望の実現に努めたいです。



館の前で集合写真

感動プロジェクト 「オンリーワン」とは

ご入居者が人生でやり残したことや、諦めてしまっていることを実現できるようお手伝いさせていただき、その人らしさを取り戻す機会をご提供しています。

日々の生活の中で目標に向けて励む充実感や、夢を実現した達成感を味わっていただけるプロジェクトです。



新国立劇場でT様と

「もみの樹・渋谷本町」活動レポート

もみの樹・渋谷本町では毎月第4月曜日に近隣の初台リハビリテーション病院にご協力いただき、認知症の方やご家族、専門家が交流できるオレシジカフェを開催しています。



クリスマスシーズンの12月は、通常のカフェとフレイル予防体操に加え、オペラユニットの『クリスタルリーフ』の皆様をお招きしてクリスマスコンサートも行いました。

